

スクールバス

第4回

定例会

9月19日～21日

9月定例会は19日に開会し、会期を21日までの3日間と定め、町長から行政報告・提案理由の説明を受け、5議員が10項目にわたり一般質問を行い、議案審議に入り、教育委員会委員の任命2件を同意し、延会しました。

20日は、条例の制定1件、条例の一部改正2件、町道路線の廃止・認定1件、補正予算7件を原案可決、平成23年度各会計決算の認定8件を決算審査特別委員会を設置のうえ付託、意見書案2件を原案可決、報告3件を了承し、会期を1日残り閉会しました。



人事

教育委員会委員の任命に同意

9月30日で任期満了となる布瀬勝明さんの後任として、迫田浩司さん（大昭・44歳）、また10月10日で任期満了となる阿部博道さんの後任として、林伸行さん（豊永・60歳・前総務課長）を新たに任命することに同意しました。教育委員会委員の任期は4年間で、教育委員会は5人の委員で構成され、学校運営を中心として、主要な教育施策

の確立など、さまざまな教育問題に取り組んでいます。

林伸行さん



迫田浩司さん



条例

スクールバス条例の制定

今年9月30日で町営バスが廃止され、10月1日から地域住民も乗車できる混乗スクールバスを運行することから、根拠となる条例を制定しました。

10月からのスクールバスは



開成線は、10月1日から「開成・津別線」として北海道北見バスが運行

廃棄物の処理及び清掃に関する法律の改正に伴い、一般

一般廃棄物処理施設条例の一部改正

運行路線、(乗車方法と運行経路)

- ・相生線 (住民混乗 津別-本岐-相生)
 - ・上里線 (住民混乗 津別-美都-里美)
 - ・恩根線 (住民混乗 津別-恩根-栄)
 - ・二又線 (住民混乗 本岐-木樋-二又)
 - ・沼沢線 (住民混乗 本岐-沼沢)
 - ・東岡線 (児童生徒のみ 活汲-東岡)
- ※市街地内の一定区間について乗り降りの制限があります。

「まちバス」と呼ばれ、運行は6路線です。東岡線を除いて、児童生徒以外に幼児、高校生及び一般成人の方が乗車できる「住民混乗」で運行されます。利用料は無料ですが、利用の際は予約が必要です。なお、開成線は10月1日から北海道北見バスにより運行されています。



災害対策基本法の改正に伴い、防災会議と災害対策本部の事務について、見直し、明確化がされたため関連する条例の一部を改正しました。

防災会議条例及び災害対策本部条例の一部改正

廃棄物処理施設の技術管理者の資格要件を、市町村の条例で定めなければならなくなったことを主なものとして、条例の一部を改正しました。

町道路線の廃止・認定

まちなか団地第II工区の建設に伴い、町道26号線(旭町)の終点位置を変更することから、町道の廃止・認定を行いました。

また、町道26号線と併せて整備を予定している町道75号線を新たに町道に認定したほか、寄付を受けた道路について新たに町道76号線(起点≡達美29番地10 終点≡達美29番地17)に認定しました。

9月定例会予算補正

会計別	今回補正額	予算総額
一般会計	9,062万8千円	47億6,189万6千円
国保会計	151万8千円	9億909万4千円
介護保険会計	62万円	4億5,840万7千円
介護サービス会計	276万6千円	2億8,385万2千円
下水道会計	312万7千円	3億9,264万1千円
簡易水道会計	31万4千円	4,363万円

補正された主な内容

〈一般会計〉

- 町有建物等維持管理経費 816万円 (職員住宅内部改修工事等)
- 町営バス維持管理経費 △1,455万円 (町営バス廃止に伴う減額)

- 森の健康館管理業務 760万円 (昼表替え等の内部改修工事等)
 - 公共交通対策経費 1,664万円 (町営バス廃止後の公共交通維持のため)
 - 社会福祉管理経費 487万円 (要援護者支援システムの導入)
 - 認定こども園整備事業 3,705万円 (整備用地の購入)
 - 町営住宅整備事業 1,384万円 (豊永団地屋根、外壁の改修)
 - 町営住宅管理経費 399万円 (かえて団地給湯ボイラー取替工事)
 - 小学校施設整備事業 370万円 (教員住宅内部改修工事等)
 - 中央公民館施設整備事業 △2,027万円 (改修工事の取りやめによる減額)
- (△は予算に対する減額を示します。)